

# せかいをひろげよう。

～世界には、いろいろな国・文化があることについて知ろう～

宿毛市立山奈小学校 担当教科／小学校全科

和田 加奈

●実践教科:道徳・生活・人権(裁量) ●時間数:9時間 ●対象学年:小学1年生 ●対象人数:14名

## 授業実践のねらい

### 【指導にあたって】

小学1年生にモンゴルのことをどのように伝えたいのか考えた時、世界には、いろいろな国があることに気づき、興味を持ってもらいたいと考えた。そのために、モンゴルの文化も家の作りも遊びも伝えたいが、その中から、昔遊びに発展させるためモンゴルの遊びと、あいさつをすることでモンゴルの人とも仲良くなれたことをもとに、言語や文化は違っても、人を思う心は同じということ伝えたいと思った。

### 【ねらい】

- 世界には、いろいろな国があることについて気づき、言葉や習慣は、国によって違いはあっても、心は同じことを知る。
- 日本の遊びなどを知り、日本のよさについても見つめなおす。

## 授業実践の構成

時間	テーマ・ねらい	主な学習活動	使用教材等
第1時	世界の国について知ろう。(1)	・知っている国をだしあう。 ・世界地図で地名を調べる。	
第2時	モンゴルってどんな国?	・「バイルッサー(ありがとう)」というモンゴル語だけでなかよくなれるか。	
第3・4時	モンゴルの遊びを知ろう。	・シャガイで遊ぼう。 ・プラスマイナスで遊ぼう。 ・50 100TGで遊ぼう。	
第5・6・7時	日本の遊びを知ろう。	・おじいちゃんおばあちゃんにきてもらい、昔遊びを知ろう。(竹馬、竹とんぼ、缶ぽっくり、水てっぽう)	
第8・9時	世界の国について知ろう。(2)	・山内さん(JICA推進員)に来てもらい、世界の国のことを知る。	

## 授業の詳細

第1時 世界の国について知ろう①(生活)

【ねらい】 世界には、いろいろな国があることに気づく。

和田 加奈  
報告書①

大西 結加  
報告書②

杉田 亮介  
報告書③

曾根 健介  
報告書④

池田 やよい  
報告書⑤

今村 加代子  
報告書⑥

山崎 功子  
報告書⑦

石原 康代  
報告書⑧

【展開】

	時間	学習活動（児童の活動&教師の働きかけ）	資料・準備物
導入	5	○みんなの住んでいるところはどこですか？ 高知県 宿毛市 山奈町 山田 ○日本には、高知県の他にどんな県がありますか。	
展開	10	○夏休みにAちゃんが行った「ハワイ」は、どこにあるのだろう。 ○世界で知っている国について発表しましょう。	パワーポイント
	20	○世界地図を使い、国名を調べる。 ・クイズ形式に教師や友だちが言った国名を探してチェックさせる。 ・班で協力し合って考えさせる。	世界地図 (各班1枚)
まとめ	10	○世界には、いろいろな国があることに気づくとともに、もっと調べたいという関心をもたせる。	ワークシート

児童の反応

エジプト アメリカ イタリア オーストラリア フランス ブルガリア きたアメリカ  
みなみアメリカ ニュージーランド アイスランド ロシア かんこく タイ インドネシア  
ちゅうごく ほっきょく なんきょく ハワイ イギリス

【所感】

自分の住所でさえ分からない1年生であったが、世界の国名・地名については、オリンピックやサッカーの対戦相手だったなど予想以上に出てきた。

また世界地図を使い、国名を探す活動については友だちと楽しみながらできていた。1年生には少し難しい面もあったが、好奇心旺盛で世界について興味を持つことができた。

第2時 モンゴルってどんな国?(道徳)

【ねらい】

言語や文化は違っても、心をこめてあいさつをすることで親しみが持て、仲良くなれることを知る。

【展開】

	学習活動（児童の活動&教師の働きかけ）	資料・準備物
導入	○どんなあいさつがあるか。	
展開	○これは、どこの国でしょうか。 ・ウランバートルの写真とゲルと草原の写真を見せて、自由に国の名前を言わせる。 ・夏休みにモンゴルに行ってきたことを伝える。	写真①②③ 写真④
	○モンゴルは、どこにあるか？ ・パワーポイントで地図を提示する。 ○「サインバイノー」何と言ったのでしょう。 ・こんにちは ・「サインバイノー」の練習をする。 ○「バイラッサー」何と言ったのでしょう。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとう。</li> <li>・「バイラッサー」の練習をする。</li> </ul> <p>◎「サインバイノー」「バイラッサー」のモンゴル語だけで、モンゴルの子供たちと仲よくなれたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲良くなれたか仲良くなれなかったか理由も発表させる。</li> </ul>	
展	<p>〈セイブザチルドレンの写真を見せる。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仲良くなれたかどうかを考えさせる。</li> <li>・折り紙を教えてあげようとする、折り鶴を作って持ってきてくれた。その時何と言ったでしょう。</li> <li>・写真と、折り鶴を見せる。</li> </ul>	<p>写真⑤</p> 
開	<p>〈ゲルステイの時の写真を見せる。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲルのつくりと家族の紹介をした後、仲良くなれたかどうかを考えさせる。</li> <li>・凧揚げ トランプ お絵かきの写真</li> <li>・シャガイを教えている写真</li> </ul>	<p>写真⑥</p> 
	<p>◎なぜ、仲良くなれたのでしょうか。</p> <p>「サインバイノー」「バイラッサー」心をこめてあいさつをすることで、なかよくなることができる。</p>	<p>写真⑦⑧⑨⑩</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モンゴルの飲み物(スーテーツアイ)を飲みましょう。</li> <li>・「バイラッサー」とあいさつをして受け取ることを伝える。</li> </ul>	<p>スーテーツアイを配る。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ありがとう」は、地球人の心をつなぐ言葉であることを知る。</li> <li>・隣の友だち、後ろで見てくれている人に心をこめて「ありがとう」という。</li> <li>○次時は、モンゴルの遊びをすることを伝える。</li> </ul>	

【所感】

モンゴルについては、朝青龍の故郷であることを1名が知っており、初めて知る子どもがほとんどであったが、パワーポイントに写る写真に担任も写っているのでもともと興味をもってくれた。モンゴル語は「バイラッサー(ありがとう)」しか覚えてなく、モンゴルの人と仲良くなれたかの発問に、子どもたちは迷っていたが、笑顔で相手も見て「ありがとう」ということの大切さや、次の発問である「言葉は違っても、世界の国々に共通するもの」についてつなげることができた。



和田 加奈 報告書①

大西 結加 報告書②

杉田 亮介 報告書③

曾根 健介 報告書④

池田 やよい 報告書⑤

今村 加代子 報告書⑥

山崎 功子 報告書⑦

石原 康代 報告書⑧

第3・4時 モンゴルの遊びを知ろう(生活)

【ねらい】

モンゴルの遊びを知り、友だちと楽しく遊ぶ。

【展開】

学習活動(児童の活動&教師の働きかけ)	
第3時	○モンゴルの遊びを知ろう。 ・ プラスマイナスで遊ぼう。 ・ 50 100TGで遊ぼう。
第4時	○シャガイであそぼう。 ・ これは何の骨とみますか。 ・ 全員でシャガイの遊び方を確認する。 ・ 班ごとにシャガイをする。 ○日本の遊びと似ている所はありませんか。 ・ すごろく ・ サイコロ ○日本の遊びをモンゴルの人に紹介する時、どんな遊びを紹介しますか。次時は、日本の昔遊びを教えてくださいましょう。



【所感】

「プラスマイナス、50,100TG、シャガイ」と初めての遊びで楽しく活動できた。モンゴルの遊びと日本の遊びの違いだけではなく似ている所も考えることができた。また国は違っても子どもが楽しめるよう工夫したり考えたりできていることは同じであることに気づいた。

第5・6・7時 日本の遊びを知ろう(生活)

【ねらい】

昔遊びを体験し、日本の遊びのよさに気づく。

【展開】

学習活動(児童の活動&教師の働きかけ)	
第5・6・7時	○日本の昔遊びを教えてください。 ・ 竹馬 ・ 竹とんぼ ・ 缶ぽっくり ・ 水てっぽう ・ お手玉 ・ おはじき



【所感】

日本の昔遊び体験のために、6人のおじいちゃんおばあちゃんが来てくれた。缶ぽっくりや竹馬、竹とんぼ、水てっぽうなどはおじいちゃんが作ってきてくれた。初めて体験するものもあり子どもたちは、楽しんで体験できた。

第8・9時 世界の国について知ろう②(人権)

【ねらい】

JICA高知県国際協力推進員山内さんを招いて世界には色々な国があることを知る。

【展開】

学習活動(児童の活動&教師の働きかけ)	
第8・9時	○世界の国について知ろう。<山内さんを招いて> ・ 日本の都道府県について ・ 世界の国について

児童の感想

- きょう山内さんがきました。ぼくはしつもんがいっぱいできたのでたのしかったです。ぼくはイギリスのことがここにのこっています。なぜかというたのしそだったからです。もっときたかったです。
- 山内かつらさんがビデオをみせてくれました。シンガポールがわからなかったけどわかったときおもしろかったよ。いえでもべんきょうするよ。
- きょう山うち先生がきてくれました。またきてほしいです。わたしのここにのこっているくには、マリのいえやたべものすくさです。でもかぞくがおおくてみんなたのしそでした。

【所感】

JICA推進員の山内桂さんを招いて、世界の国について教えてもらった。地図の上では、国名や地名しか分からないが、写真で食べ物や衣装なども見ることができてより身近に感じることができた。



授業実践を終えて(成果と課題)

1年生に国際理解の授業をするにあたって難しすぎないかという迷いはあったが、世界にはいろいろな国があって世界は広いということを感じてくれたようだ。また、言葉や文化は国によって違いはあっても、自分たちと似ている所がいっぱいあり、心は同じであることを知る国際理解の第一歩となった。

1年生という早い段階から世界に関心をもたせるきっかけになったことは成果であるが、来年度へ向けて系統だった取り組みが課題である。